

帯広東ロータリー・クラブ会報

[2022-2023年度]



イマジン
ロータリー

会長/古川 直也
幹事/上野 敏郎
会報編集 メディア委員長/加藤 肇



帯広東RC HP

■創立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：〒080-0013 北海道帯広市西3条南9丁目23 帯広経済センタービル東館3F TEL(0155)25-7347 ■例会場所：ホテル日航ノースランド帯広 TEL(0155)24-1234

第1768回例会 (令和4年9月20日) 於 ホテル日航ノースランド帯広

起立
友情の握手
鐘点
開会宣言

古川 直也 会長

(帯広東RC第1765回例会)
高氏 英年 副S A A

ロータリーソング

(我等の生業)



会長挨拶

古川 直也 会長

皆さま、こんにちは。
先週は、この9月で創立70年を迎えられる大和穀様の職場訪問でした。
このことは、今年度当クラブテーマである「三方よし」を70年実践されてきた事だと勝手に解釈致しました。芽室工場にお邪魔し、豆が出荷されるまでの作業工程や倉庫内部を詳しく説明して頂きました。工場自体が大きいので、工場を動かすと説明の声が聞こえなくなるので稼働を休んでいただきお遣いいただきました。大きな工場ですがオートメーションシステムになっていて、従業員はたったの5名だと説明を受けました。



また、お土産にあずきと金時豆とカボチャを頂きました。泉会長がじかに作ったカボチャは大変美味しかったです。敷地内にビニールハウスがあり、従業員の皆様用にと泉会長が自ら野菜を作っているとの事でした。今回、大和穀様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

さて、ロータリーの友9月号で国際RC副会長のスコットさんが、「新型コロナウイルスが流行する前、クラブの枠を超えて考える会員は多くはありませんでした。自分達がグローバルな変革者だという自覚はありませんでした。しかし、コロナ禍によって他の地区や国のパッチャル会合に参加した事でロータリーの活動全体に視線が向くようになりました。」とっております。



私も zoom を介した3回のRLI➡1回あたり朝8:30から夕方4:30までで大変でしたが、これにに参加して、他クラブの会長、幹事の方々と交流が出来ました。リアルの会議より人数、時間は多いと思います。

のちに、RLIでお会いしましたね!などと会話が弾みました。
そして、本日のプログラムはそのzoomです。簡単にいうとテレビ会議のような仕組みな訳で、リアル例会と併用するということが、電波があれば、自宅、職場、その他、出張先とか、何処からでもパソコン、タブレット、スマートフォンで簡単に参加できるということですので、仕事柄、なかなか出席出来ない会員も参加しやすくなるのではないかと思います。また、寒河江サク

ランボRCと実施出来れば面白いと思います。
本日のプログラムは、メディア担当、加藤肇委員長、後ほど、よろしくお願ひします。

会務報告

上野 敏郎 幹事

- ① 帯広北RC、9月23日(金)の例会は祝日のため、休会と致します。
・帯広RC、9月28日(水)の例会は、休会と致します。
- ② 帯広南RC、移動例会開催のご案内
日時 9月26日(月)午前11時
場所 友好の森(帯広の森内)
- ③ 帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 9月29日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ④ RI第2500地区大会(旭川)開催のご案内
日程 10月8日(土)～10月9日(日)
場所 旭川市民文化会館 他
《大会1日目(8日(土))》
記念親睦ゴルフ大会 8:00～ 大雪山カントリークラブ
会員研修セミナー
(3年未満・女性会員) 13:00～ アートホテル旭川
《大会2日目(9日(日))》
登録受付 9:00～ 旭川市民文化会館
本会議(午前の部) 10:00～12:00 "
本会議(午後の部) 13:00～16:20 "
大会記念大懇親会 17:30～19:00 アートホテル旭川他
- ⑤ 例会終了後、定例理事会を開催いたします。



委員会報告

各委員会

・ニコニコ献金

親睦活動委員会

平佐 正仁 会員



- 古川 直也 会長 台風14号が温帯低気圧に変わりました。九州では気象庁始まって以来、かなりの大きさとの事です。
- 大塚 正昭 会員 先週の職場訪問例会、泉会員には大変お世話になりました。帰りには豆やカボチャなどを頂き、ありがとうございました。
- 曾根 一 会員 小さなアパートの中で水耕栽培を始めます。レタスを作ります。年間を通して収穫できるので楽しみです。とかちむらでも販売しますのでご利用ください。
- 加藤 肇 会員 本日メディア委員会の担当プログラムです。久々に卓話をします。よろしくお願ひいたします。

【オンラインを活用した ハイブリッド例会を目指して】

メディア委員会 委員長
加藤 肇 会員



本日はメディア委員会の担当プログラムです。まず、会報の発行が遅れており大変申し訳ございません。鋭意、発行の方を進めておりますので何卒、よろしくお願ひいたします。

では、プログラムに入ります。

2020年1月に日本で初めてのコロナウィルス感染者が確認されて以降、次々と感染者が確認され、重症者、死亡者が増え、感染予防のために行動制限、緊急事態宣言が出されました。今までの当たり前だと思っていた生活が一変し、人との集まりを中止する、消毒の徹底、マスクの着用…と不便な生活が続いています。

ロータリークラブの例会も、短縮例会、中止、延期が続き、今現在もコロナ感染者数を確認しながら開催しているのが現状です。

ひところの規制よりは緩和されたものの、ウィルスの変異株を注視しながらの生活です。このような状況で、R1では、オンラインを活用した例会活動の推奨を行っております。帯広市内のクラブでも、積極的にオンライン例会を開催するクラブもあり、昨年度、青少年で担当したロータアクトクラブはオンラインでの例会を頻繁に行っていました。東RCでは昨年9月に理事会の開催をオンラインで行ったことがあります。

例会は本来、対面で行われるものですし、東RCの定款、細則にもそのように記されています。

しかし現在、東RCでも持病などの理由から、コロナ感染を防ぐために、対面の例会参加を控えている会員もおります。また、業務多忙で、例会時間に例会場に足を運べない会員もおります。そのような状況でも、オンラインの例会を対面例会と併用することで、東RCの仲間との繋がり、例会の様子を感じてもらえる一助になるのでは、と考えています。

オンライン例会では、「ZOOM(ズーム)」と言うコミュニケーションアプリを利用して行っているのが大半です。これはパソコンやスマートフォン、タブレットにアプリケーションソフトを導入して行うものです。

アプリケーションを導入云々…と聞くと、あまりパソコンを使わなかったりする方にはハードルが高く感じるかもしれません。ですが、最初の導入を行えば、次回からはメールで送られてくる参加招待をクリックすれば参加できる形になり、意外とすんなり出来る…と感じてもらえたりするアプリだと思います。

今年度のメディア委員会の活動計画に例会のハイブリッド化を掲げたところ、先日、公式訪問で見えられた久木ガバナナーが「私たちのクラブでも導入してオンライン例会を行うまでの準備に苦労はありました。あまりパソコンを使わない方や先輩方に浸透するまで時間はかかりましたが、判る会員がレクチャーしたりして現在は定着してきています。

オンラインでの例会参加を促すことで今のクラブの活動などが伝えられていると思います。

ガバナナーメッセージにもICT[ICT(アイシーティー)とは、「Information and Communication Technology」の略称です。日本語では、「情報通信技術」と訳され、コンピュータを単独で使うだけでなく、ネットワークを活用して情報や知識を共有することも含めた幅広い言葉です。]を利用しての交流を掲げているので是非、進めてくださいね。」とお言葉をいただきました。

そこで、どのようにしてみなさんに、ZOOMの導入、利用の仕方を判りやすく知ってもらえればよいか考えましたが、うまくまとまらず、インターネットで調べたところ、判り易そうな指南書がありましたので今日の資料としてお出ししました。

ZOOMを利用する際はパソコンの他にWEBカメラ(パソコンにカメラがない場合)マイク付きヘッドフォンが必要となります。スマートフォン、タブレットはどちらも内蔵されていますが、マイ

ク付きヘッドフォンはあった方が便利だと思います。

今回はパソコン編をお配りいたします。この解説ではメールでZOOMでのミーティング招待連絡を受けて、アプリケーションソフトが導入されている場合としない場合の操作の仕方が書いてあります。実際に行ってみないとピンと来ないことが多いと思いますので、近々に招待メールを送って実際に使ってみてもらおう機会を設けたいと思いますのでお待ちください。その際にうまくいかない場合はサポートいたします。

スマートフォン、タブレットでの導入方法もありますのでご用意できますのでお声がけください。

今年の年末家族会では、姉妹クラブの寒河江さくらんぼロータリークラブとのZOOMを使っての交流も予定しております。また、委員会等の会議でも利用できます。

先日、地区の会員増強の懇親会がZOOMで行われました。その時の感想を池田会員、聞かせていただけますか？

池田会員：ZOOMの会議はセミナーのように聞く中心の場合もありますが意見を求められて発言も出来るので良いのではないかと思います。

まだまだ収まる気配の見えないコロナ禍です。また、感染者の増大で対面例会の開催が難しくなる可能性もありますし、参加を控えている会員の方々との繋がりを作っていくための一つとしてオンライン、ハイブリッド例会を目指していきたいと思います。

<質疑・意見など>

Q上野会員：ZOOMをまだ理解していない私ですが、例会の中で期待するのは、この状況下で出てこれない会員にZOOMをとおして例会を感じ取ってもらうことで一体感を持つてることを期待しているが伝えられそうですか？

A：一体感という意味ではそれぞれとやり取りが出来るので一方通行でなく、こちらから呼びかけてお話してもらったりすることも出来ますし、会報だけでなくZOOMで参加していただければより詳しく聞くことが出来るのかなと思います。

Q上野会員：通常の例会の雰囲気伝えることが大事、意識して会話例会をしていかなければならないと思うが出来ますか？

A：例えば事前に、今日の例会は何か一言お願いしますとお願いするのもやり方だと思います。遠慮される方もいるかと思うのでその方は視聴中心になるかと思ひます。ZOOMで誰が参加しているとかの紹介は出来ると思ひます。

上野会員：年末家族会で寒河江さくらんぼロータリークラブと繋いで交流を図る予定です。そこに向けて準備、実践をお願いします。

吉村会員：自分もオンライン会議をして最初の設定で繋がらないという事がある。相手方の近くに詳しい人がいないとならなかつたりするので、それまでに実践・テストをしないと広がっていかないので事前のテストなどは丁寧にやっていった方がいいと思ひます。

曾根会員：私は全国会議などを、ZOOM会議をやっていますが、小部屋を作ってグループ討論などが出来たりして使い勝手の良いツール。平和園の新田会長も85歳で使っていたりします。移動中はスマホ等で参加し、到着してからパソコンで再参加したりも出来る。覚えると簡単で使い勝手の良いツールだと思うので、前向きに取り組んでください。

閉会宣言

(SAA)

点 鐘

(会 長)

次回プログラム予定

令和4年9月27(火) 「ゲスト卓話」帯広RAC会長他
(青少年奉仕・ロータアクト委員会)